

三和油化工業株式会社

東証スタンダード市場／名証メイン市場
証券コード：4125

2027年3月期
第２四半期
決算説明資料

2026年11月16日

目次

1. 会社概要 P. 3

2. 2027年3月期 第２四半期 決算概要 P. 7

3. 2027年3月期 業績予想 P. 19

4. 中長期経営計画 P. 23

5. Appendix P. 30

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

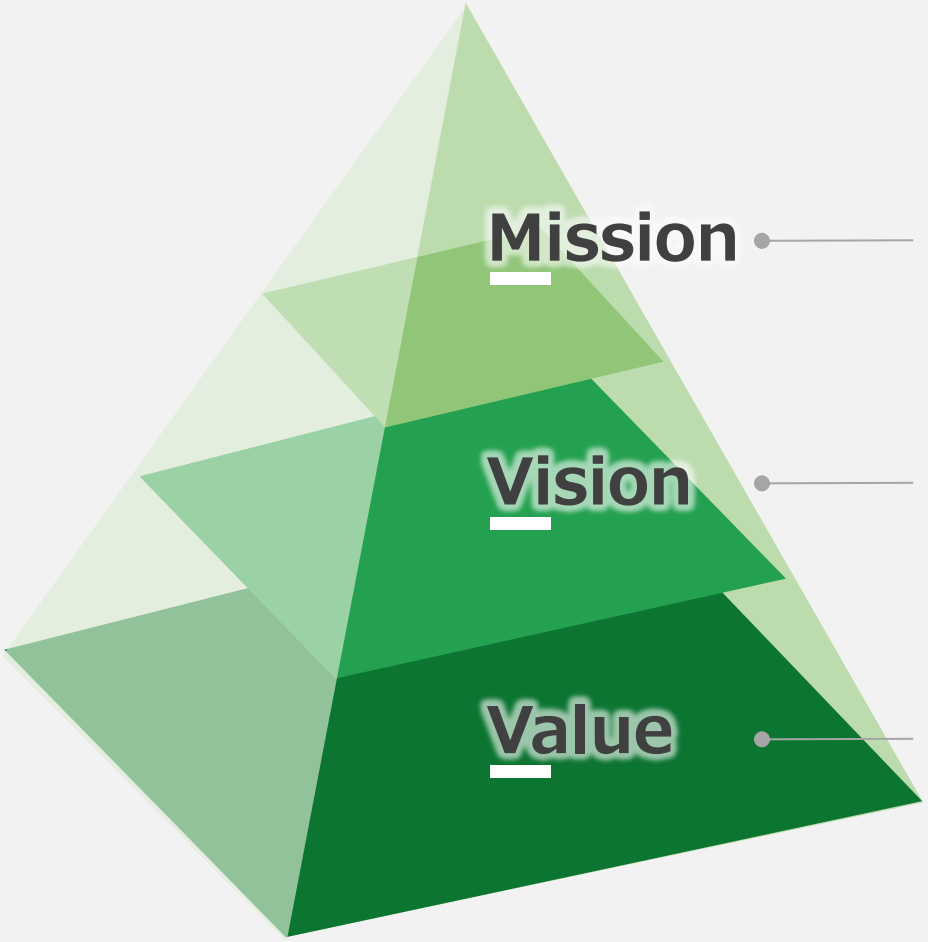


会社概要



当社グループの理念

三和油化工業株式会社



Mission
我々は何のために存在しているのか

「環境ニーズを創造する」をテーマに事業活動を展開し、持続可能な社会の実現への貢献

Vision
我々はどこに行こうとしているのか

社会から必要とされる環境リーディングカンパニーを目指す

Value
我々は何を大切にしているのか

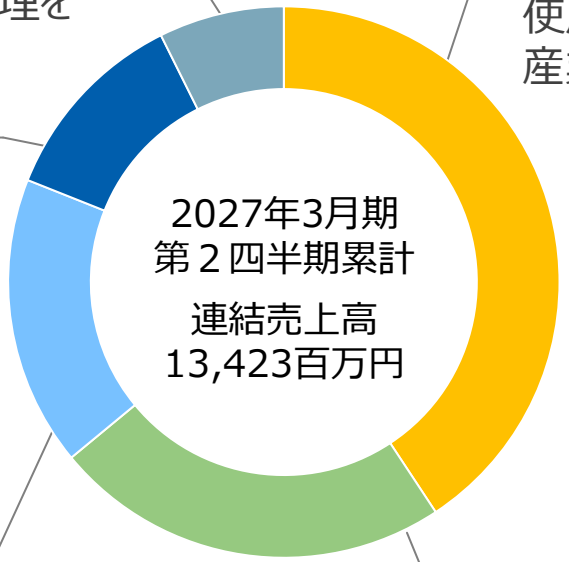
社会からより信頼されるよう、「責任」・「挑戦」・「創造」の理念を根幹に、与えられた役割を常に考え、「誠実に、確実に」やり遂げる

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

売上種類別の販売実績

三和油化工業株式会社

- 連結売上高は、**リユース事業が大きく躍進し、前年度比62%増の13,423百万円に拡大**
- リユース・リサイクル・ファインケミカルの**主力３事業で売上高全体の約80%**



エンジニアリング事業

7.4%（26年3月期2Q：7.3%）

プラント改廃時の清掃・解体・廃棄物処理を
ワンストップで実施

ベーシックケミカル事業

11.6%（26年3月期2Q：16.2%）

油剤製品、工業用洗浄剤及び
自動車製造工程で使用される
各種副資材を製造・販売

ファインケミカル事業

17.0%（26年3月期2Q：18.0%）

有機化学品や無機化学品及びそれらを
精製・加工した化学品の製造・販売及び受託加工

リユース事業

40.7%（26年3月期2Q：23.9%）

使用済み溶剤、混酸、有用金属等を含む
産業廃棄物などのマテリアルリサイクル

リサイクル事業

23.3%（26年3月期2Q：34.6%）

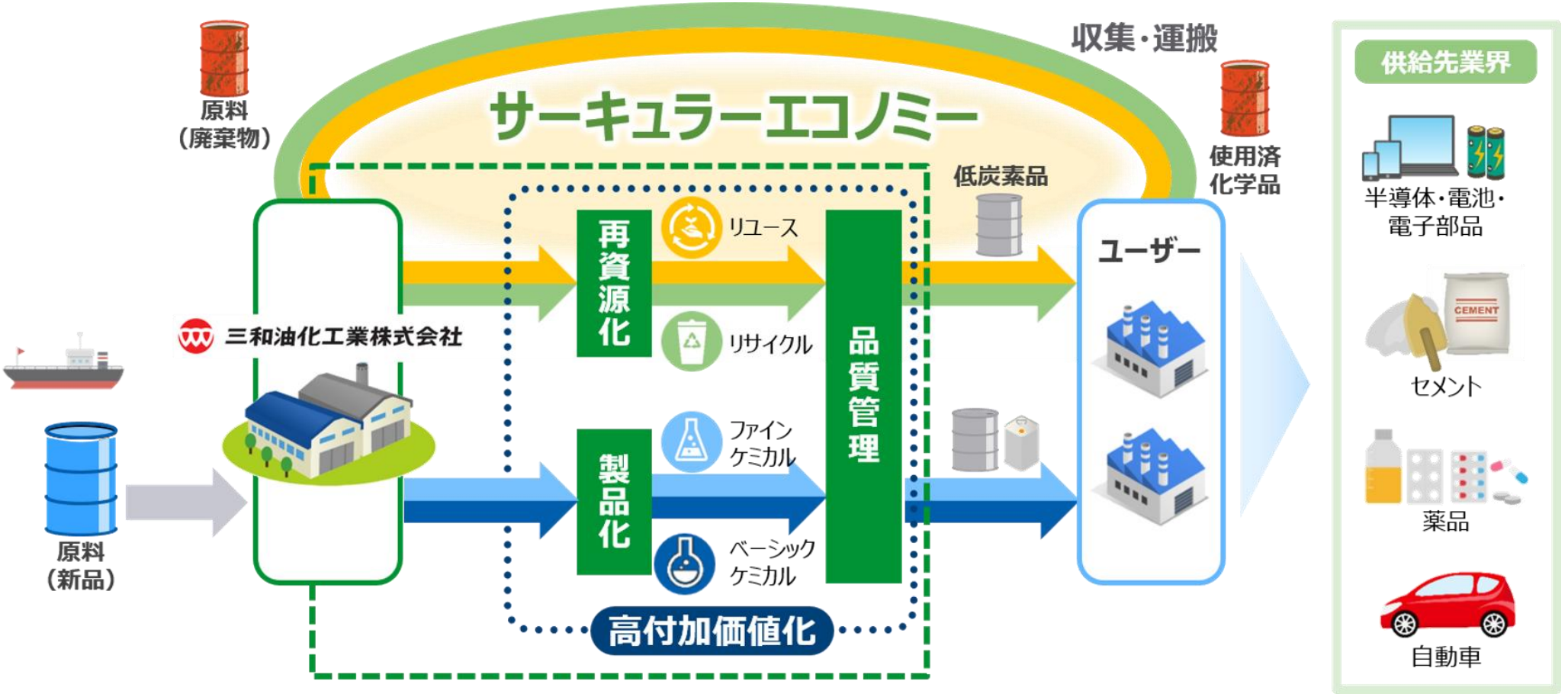
マテリアルリサイクルの難しい産業廃棄物
からの再生燃料やセメント原料の製造

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

当社の役割と特徴

三和油化工業株式会社

- 高度な技術力で分離・精製を得意とする**化学品リサイクルメーカー**
- **再資源化による原料調達**により地政学・為替等の**リスク低減**



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.



2027年3月期 第２四半期　決算概要

決算のポイント

2027年３月期　第２四半期累計

売上高	営業利益	営業利益率
13,423百万円	1,272百万円	9.5%
【前年同期比】 +62.0%	【前年同期比】+158.5%	【前年同期比】+3.6PT

事業環境

- 中東情勢の緊迫化等により、原油・ナフサ市況の不安定な状況が継続
- AI・データセンターなどの一部半導体業界は活況も、コモディティ・EVの市況感の回復は緩慢
- 資源調達不安やインフレによる原材料価格・エネルギー価格・人件費等の高騰によりコスト負担は高止まり

内部対応

- 再生品・新品を含む溶剤需要や市況変動に対し、生産・販売体制を強化し柔軟に対応
- 原材料・エネルギー価格等の上昇による売価改定および原価上昇抑制により利益拡大
- 化学プラントの大型解体案件について、工事進行が円滑にすすむよう調整・手配

⇒石油化学製品の新液販売および再資源化需要が堅調に推移し、売上高・利益は拡大
中期経営計画達成に向けた工場建設等の大型投資は計画通り進行中

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

損益計算書

三和油化工業株式会社

- 2025年10月の金属リサイクル会社の企業結合により、**リユース事業が売上高拡大に寄与**
- 粗利率が相対的に低い金属回収が拡大したことにより、**粗利率は低下するも粗利額は大幅増**

（単位：百万円）

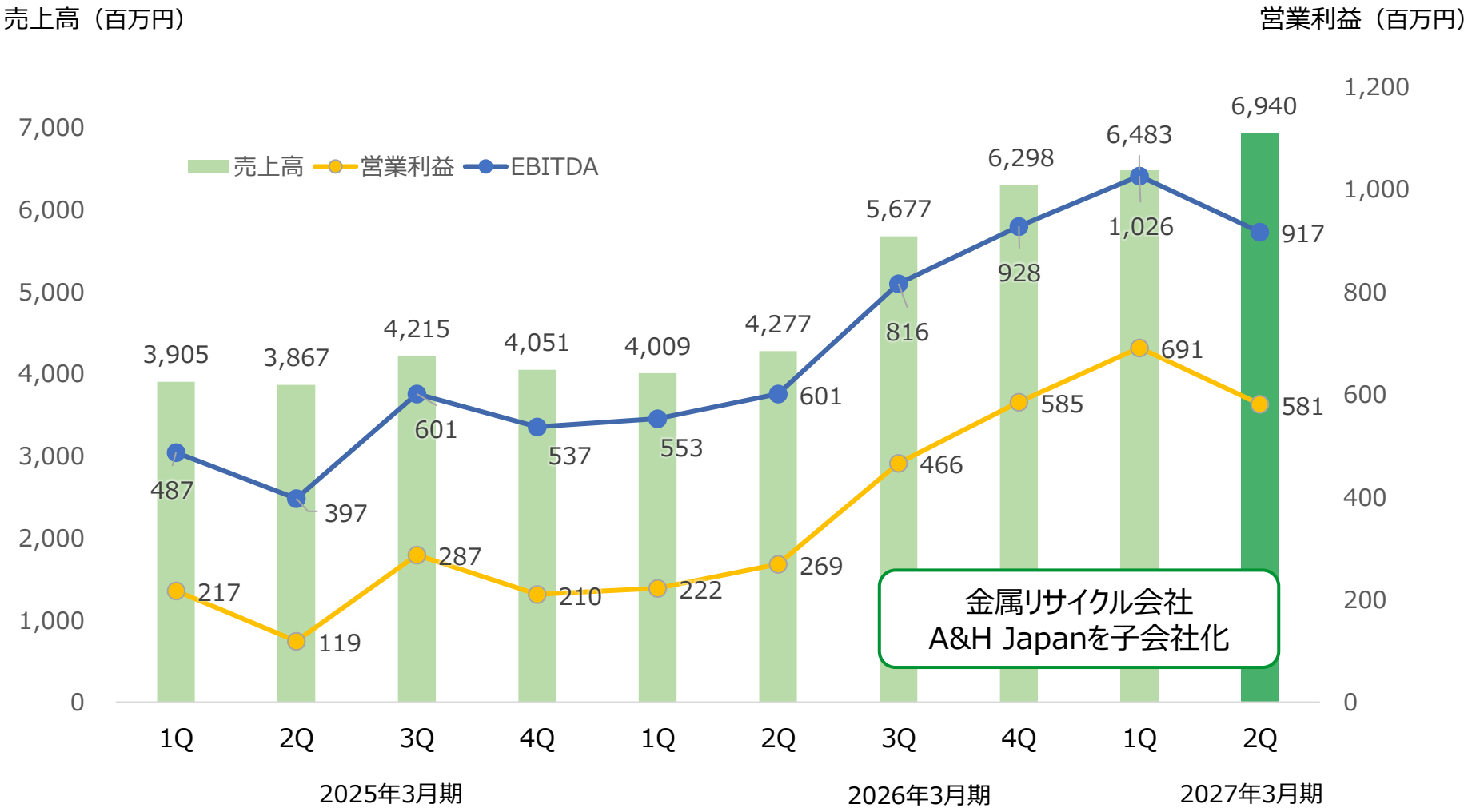
	2026年3月期 2Q累計		2027年3月期 2Q累計		前年同期比	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	増減額	増減率
売上高	8,287	100.0%	**13,423**	**100.0%**	+5,136	+62.0%
売上総利益	2,453	29.6%	**3,499**	**26.1%**	+1,046	+42.6%
営業利益	492	5.9%	**1,272**	**9.5%**	+780	+158.5%
経常利益	586	7.1%	**1,238**	**9.2%**	+652	+111.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	376	4.5%	**815**	**6.1%**	+439	+116.7%
EBITDA（※ 営業利益+減価償却費）	1,155	13.9%	**1,943**	**14.5%**	+788	+68.2%

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

四半期業績推移

三和油化工業株式会社

- 中東情勢緊迫化の影響等による石化製品の単価上昇は継続しており、**売上高は過去最高**
- 好業績による**賞与引当額増加等により、前Qと比較して営業利益は圧縮も高水準で推移**



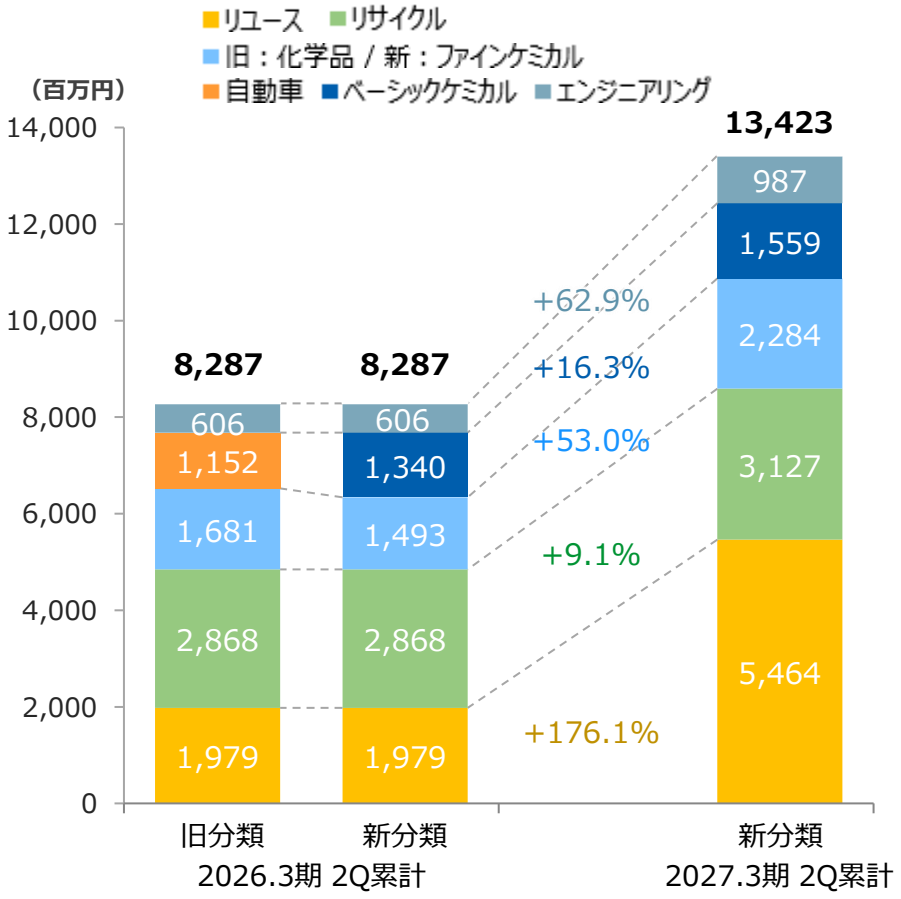
Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

事業種類別売上高

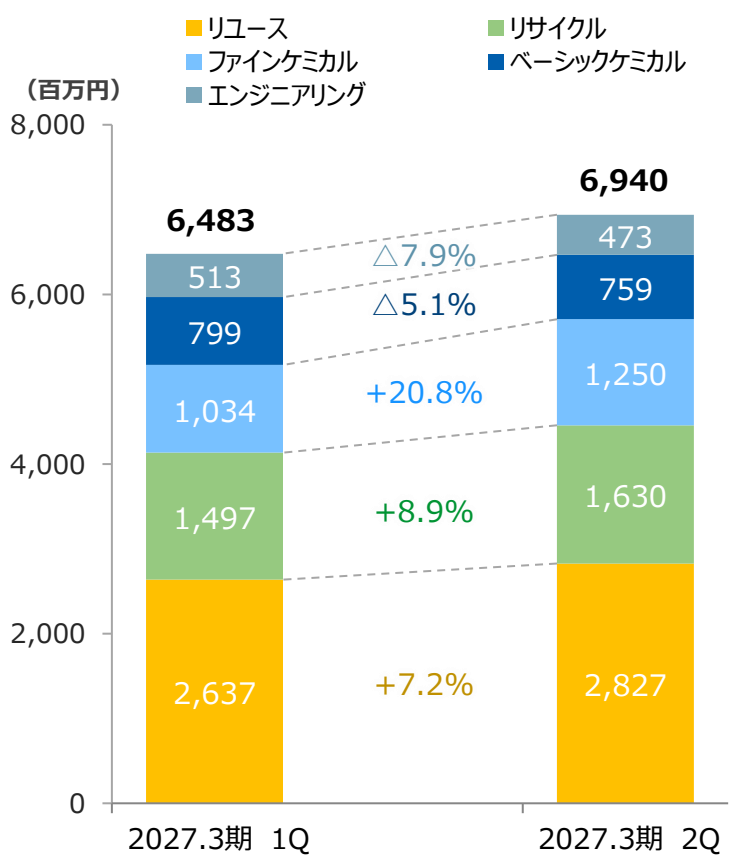
三和油化工業株式会社

- **リユース事業、ファインケミカル事業およびエンジニアリング事業の拡大により売上高は大幅増**（YoY）
- **リユース事業、リサイクル事業およびファインケミカル事業の主要3事業が好調に推移**（QoQ）

前年同期比（YoY）

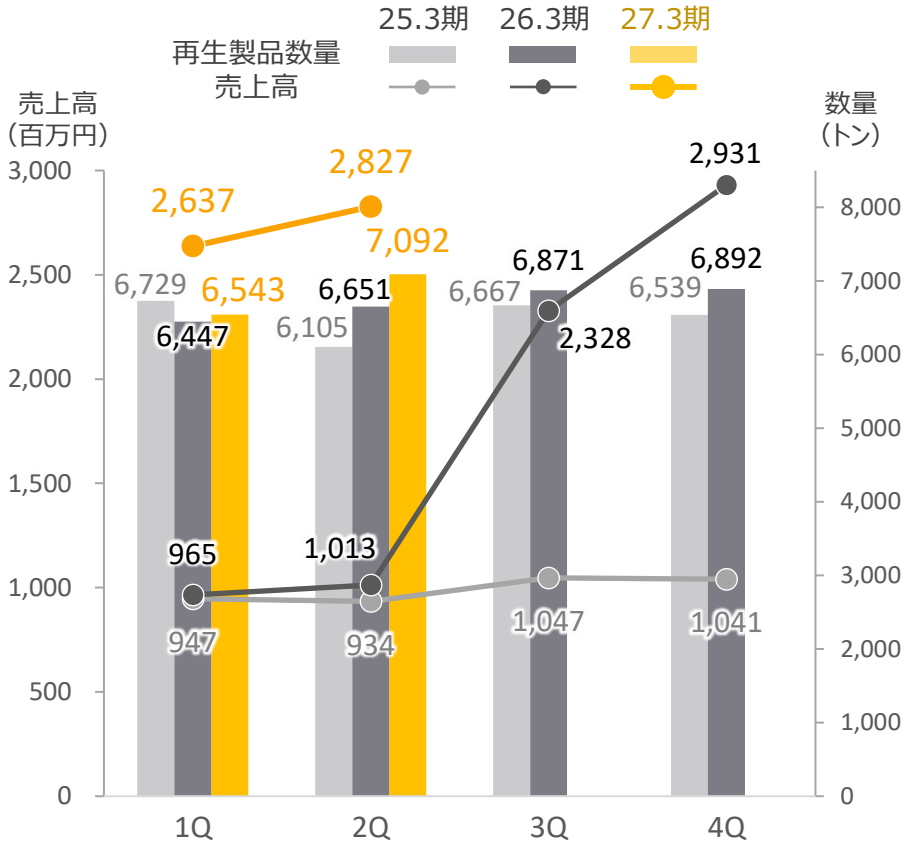


前四半期比（QoQ）

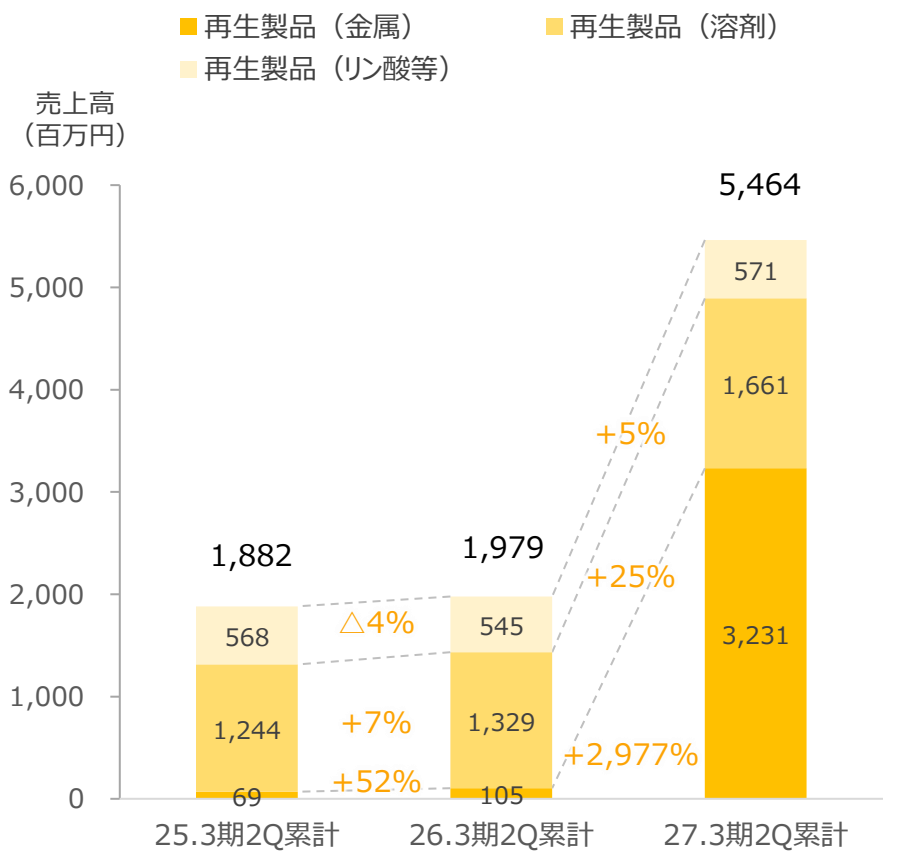


Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

売上高および主要品目の取扱数量（QoQ）



売上高内訳（YoY）



■リユース事業売上と再生製品販売数量

- **再生製品（溶剤）の販売数量は過去最高**
- 金・銀の価格は下落するも、**In価格は高水準で推移**

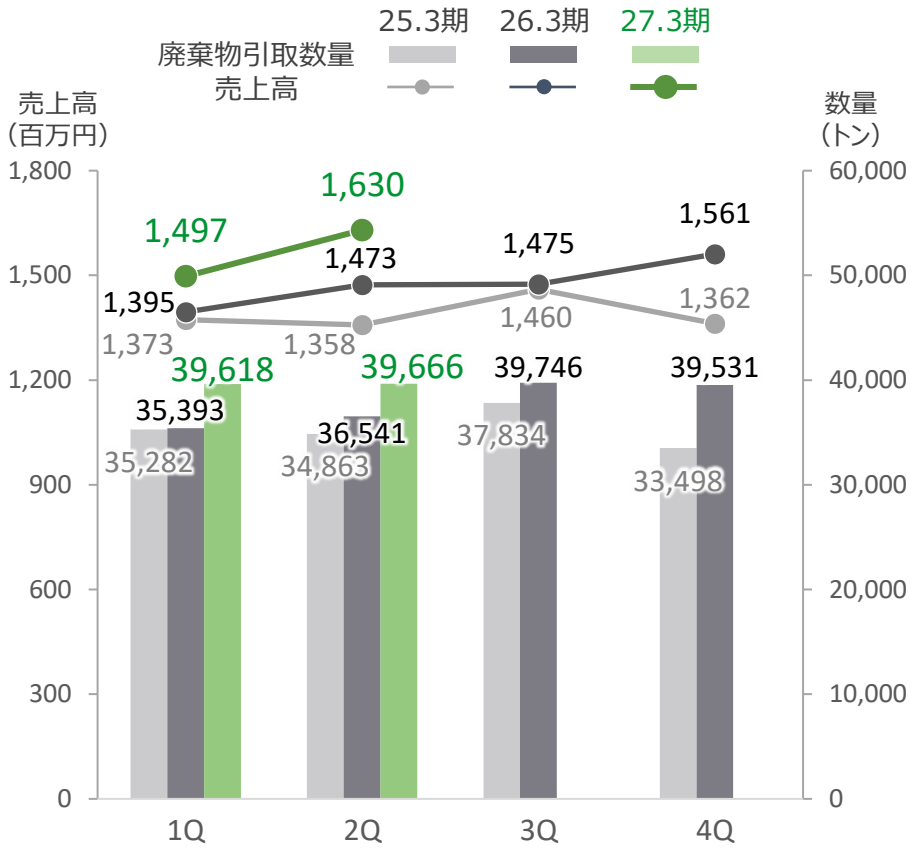
■リユース事業売上内訳

- 2025年10月の**企業買収により再生品（金属）の売上拡大**
- **再生製品（溶剤）は取扱数量・単価ともに堅調**

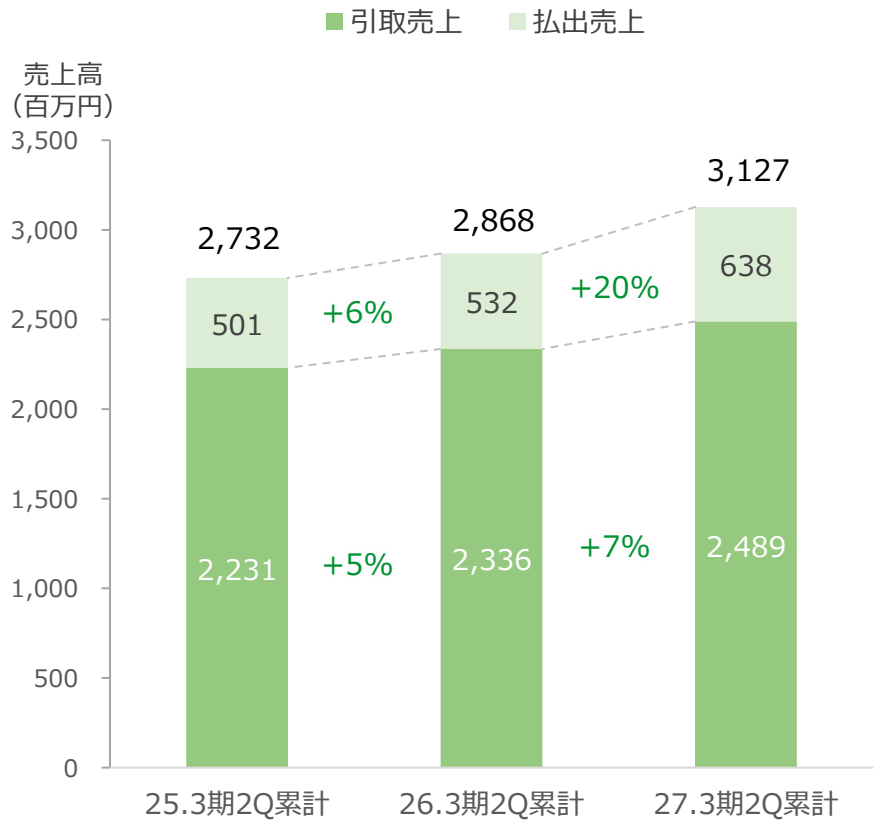
※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

売上高および廃棄物引取数量（QoQ）



売上高内訳（YoY）



■リサイクル事業売上と廃棄物引取数量

- 廃棄物由来燃料の引合増により**再生燃料の販売は堅調**
- 競争環境や市場環境の変化により**処理物引取単価は膨着**

■リサイクル事業売上内訳

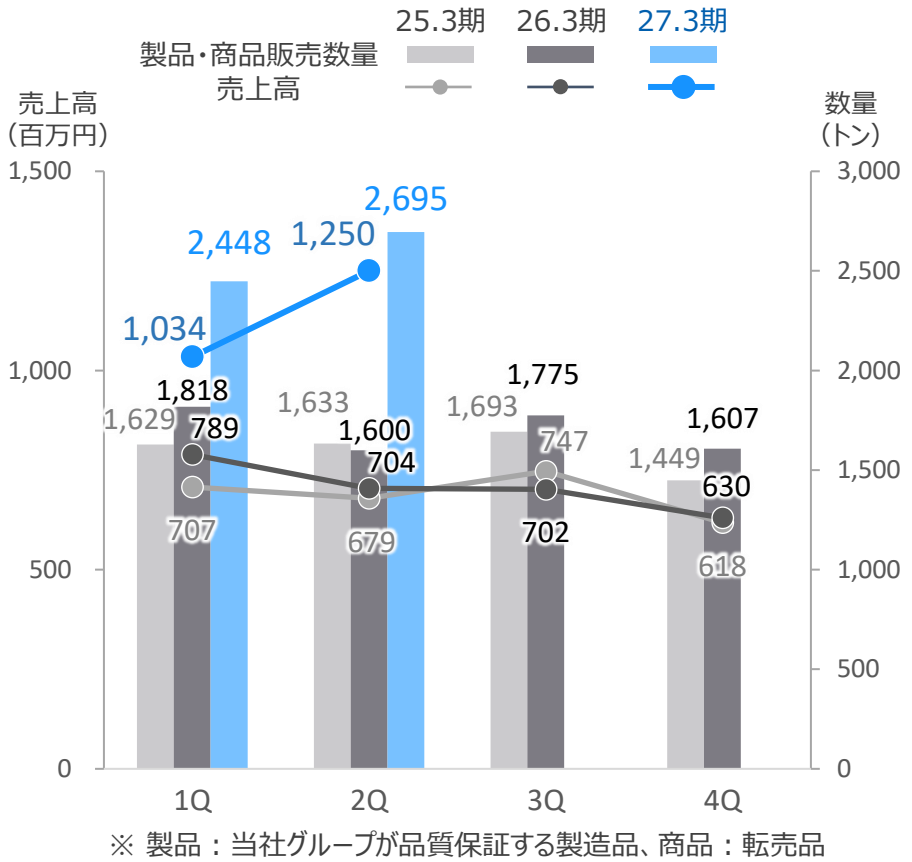
- 営業力強化により、**数量を拡大し堅調に売上高を伸長**
- 難処理物引取や単価の高いスポット品の**収集を強化**

※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

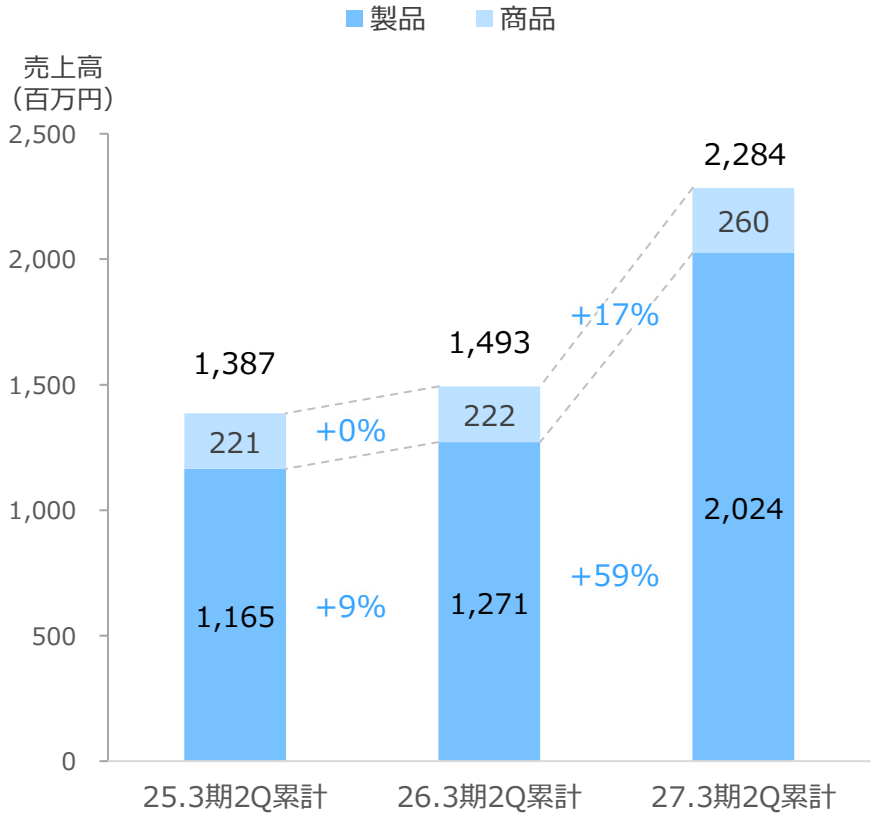
ファインケミカル事業

売上高および製品・商品販売数量（QoQ）



※ 製品：当社グループが品質保証する製造品、商品：転売品

売上高内訳（YoY）



■ファインケミカル事業売上と製品・商品販売数量

- 半導体業界の業績回復等により、**高純度化学品販売は復調**
- 電池関連製品の受注回復により売上拡大

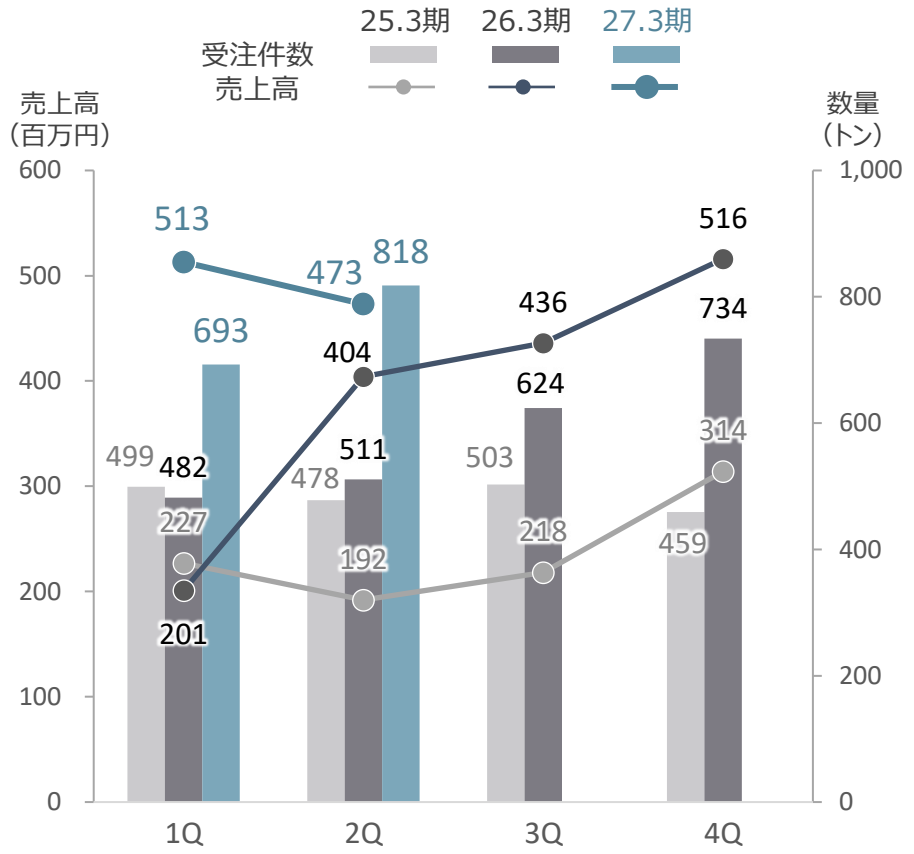
■ファインケミカル事業売上内訳

- 車載用**電池関連製品の受託製造は中長期的に拡大傾向**
- ニッチな有機溶剤の調達ルート確保により売上を拡大

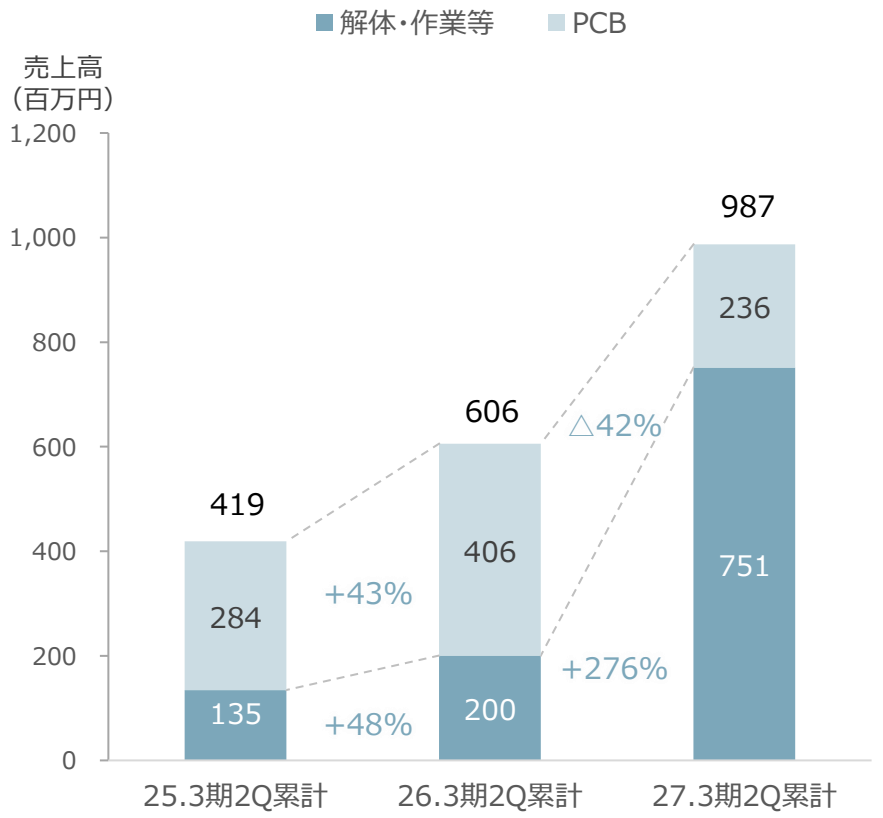
※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

売上高および受注件数（QoQ）



売上高内訳（YoY）



■ エンジニアリング事業売上と受注件数

- 大型解体工事案件が順調に進み、**前倒しで売上に寄与**
- 中小型の解体・作業案件の**獲得数が増加し売上拡大**

■ エンジニアリング事業売上内訳

- PCBは2027年３月の処理期限にむけて縮小傾向
- 解体・作業案件の**協力業者を増やすことで体制を強化**

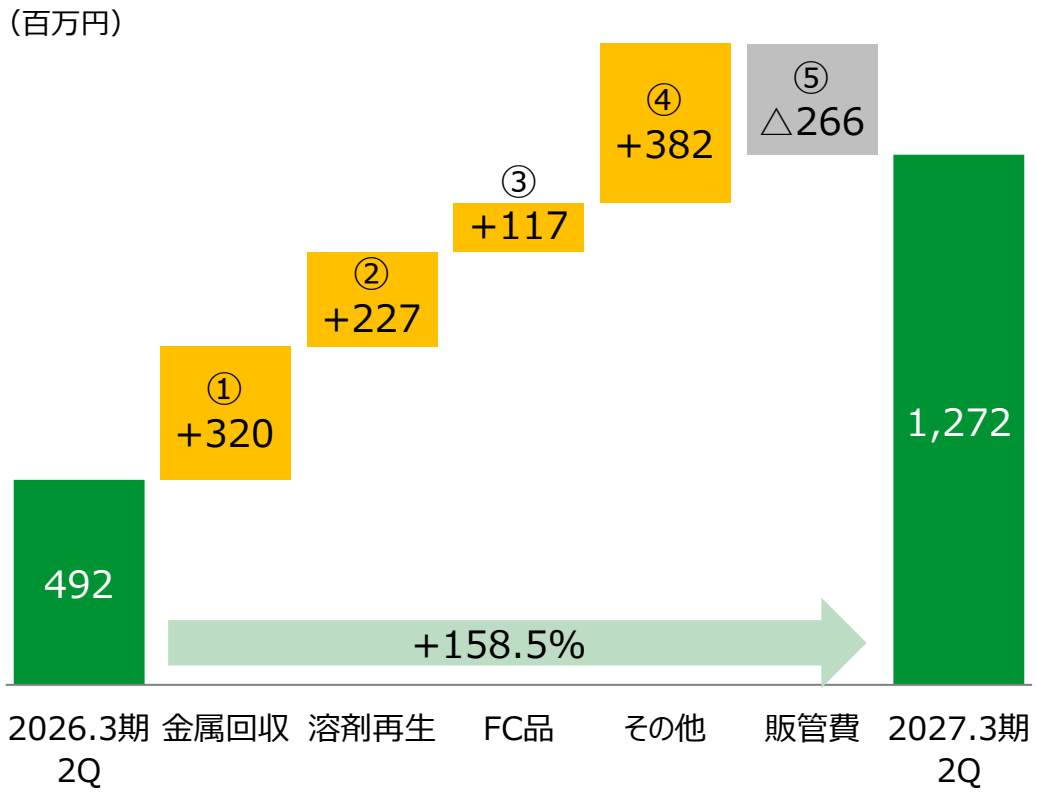
※グラフの数量は各事業別の全体数量ではなく、各事業売上と最も相関がある分類のみを選択しております

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

営業利益増減要因分析（前年同期比）

三和油化工業株式会社

- 企業結合による**金属事業の拡大および再生溶剤の単価引上げ等により利益拡大**
- ファインケミカル品の取扱数量増および大型解体案件の進捗が順調なことも収益拡大に寄与



① 金属回収
〈＋〉企業結合による事業拡大
〈－〉一部金属種の**相場下落による販売単価下降**

② 溶剤再生
〈＋〉資源循環**ニーズ上昇による販売数量の増加**
〈＋〉原油・ナフサ**価格の高止まりによる単価上昇**

③FC(ファインケミカル)品
〈＋〉受託製造品の受注が増加
〈＋〉半導体業界の業況が良く、高純度品も堅調

④ その他
〈＋〉**大型解体案件の順調な進捗による収益増**
〈＋〉営業強化による**産業廃棄物の収集量増加**
〈－〉引取数量上昇による産廃処理費の増加

⑤ 販管費等
〈－〉人員増・賞与引当増による**人件費増加**
〈－〉企業買収による**のれんの償却費発生**

〈＋〉利益へプラス要因、〈－〉利益へマイナス要因

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書

三和油化工業株式会社

（単位：百万円）	2026年3月期	2027年3月期2Q末	前期比 増減額	コメント
流動資産	7,794	**8,386**	+591	棚卸資産の数量増・単価上昇による増加
固定資産	18,226	**21,064**	+2,838	工場建設による建設仮勘定の増加
資産合計	26,020	**29,450**	+3,429	
流動負債	5,572	**6,360**	+788	短期借入金の増加
固定負債	6,970	**8,721**	+1,751	長期借入金の増加
負債合計	12,542	**15,082**	+2,540	
純資産合計	13,477	**14,367**	+889	利益獲得により利益剰余金が増加
負債・純資産合計	26,020	**29,450**	+3,429	

（単位：百万円）	2026年3月期2Q	2027年3月期2Q	前期比 増減額	コメント
営業キャッシュ・フロー	1,450	**1,219**	△231	税金等調整前中間純利益の増加 A&H社の子会社化による棚卸資産の増加
投資キャッシュ・フロー	△698	**△3,666**	△2,968	有形固定資産取得による減少
財務キャッシュ・フロー	828	**2,548**	+1,719	長期借入れによる収入の増加
現金及び現金同等物の増減額	1,581	**101**	△1,479	
現金及び現金同等物の期末残高	3,208	**2,261**	△946	

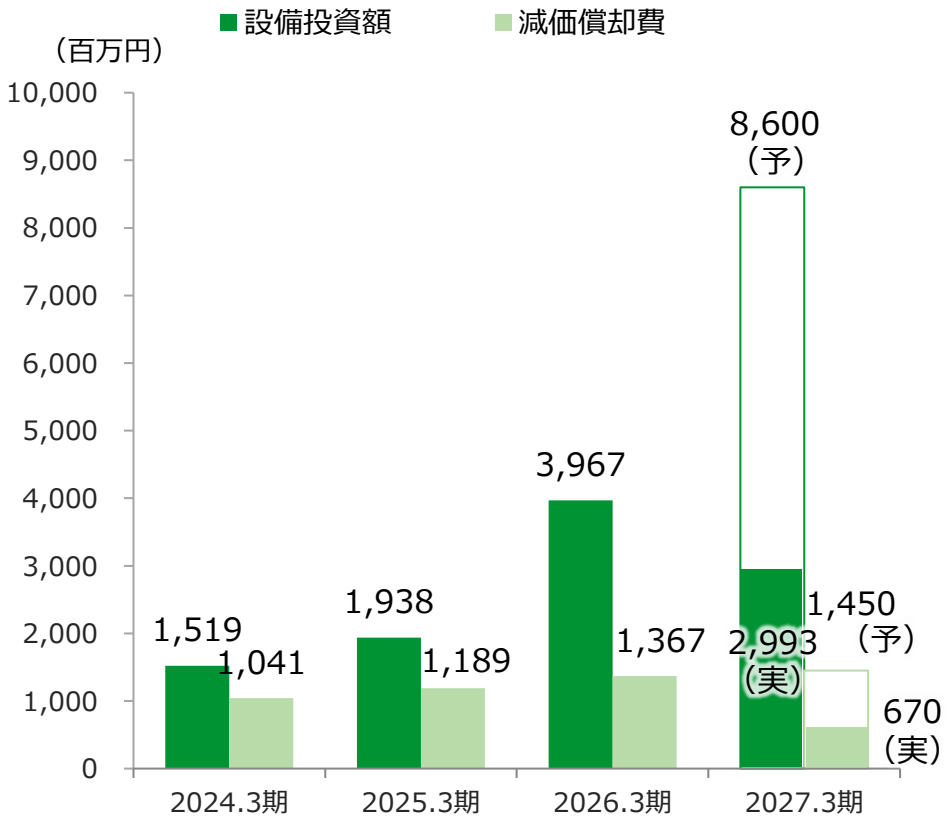
Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

設備投資額・減価償却費・研究開発費

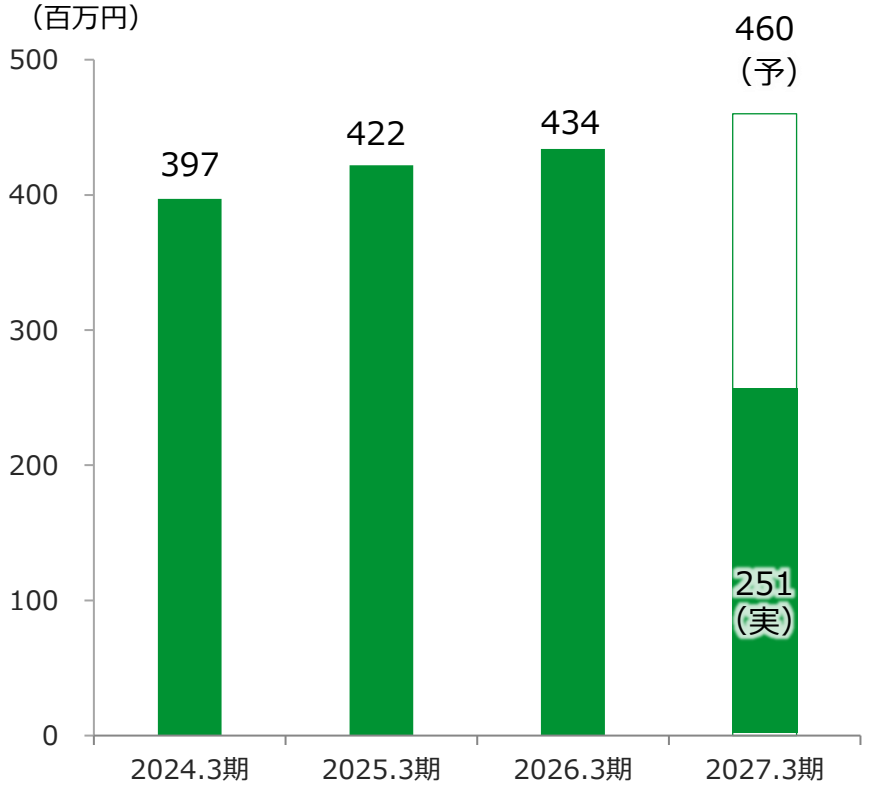
三和油化工業株式会社

- 北九州市のサンワマテリアルソリューションズ株式会社の工場は**2027年4月稼働にむけ順調な進捗**
- 新しい分離・精製技術の開発にむけ、**試験設備導入や開発人員を強化**

設備投資額・減価償却費



研究開発費



※減価償却費にはリース資産を含む

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.



2027年3月期 業績予想

下期修正業績予想

三和油化工業株式会社

- ファインケミカル受託品製造および解体工事の進捗が好調であることから**業績予想を上方修正**
- 支払利息の負担増および本社工場の一部建屋解体による除却損発生により**利益は一部圧縮**

（単位：百万円）

		上期			下期			通期		
		期初業績予想	実績	達成率	期初業績予想	修正後業績予想	増減	期初業績予想	修正後業績予想	増減
売上高	リユース	5,100	5,464	107%	5,200	5,336	+136	10,300	10,800	+500
	リサイクル	3,000	3,127	104%	3,000	3,073	+73	6,000	6,200	+200
	ﾌｧｲﾝｹﾐｶﾙ	1,450	2,284	158%	1,500	1,916	+416	2,950	4,200	+1,250
	ﾍﾞｰｼｯｸｹﾐｶﾙ	1,400	1,559	111%	1,450	1,441	△9	2,850	3,000	+150
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	700	987	141%	700	613	△87	1,400	1,600	+200
売上高 計		11,650	13,423	115%	11,850	12,377	+527	23,500	25,800	+2,300
営業利益		800	1,272	159%	900	1,028	+128	1,700	2,300	+600
経常利益		760	1,238	163%	860	962	+102	1,620	2,200	+580
親会社株主に帰属する当期純利益		520	815	157%	580	685	+105	1,100	1,500	+400
EBITDA（※ 営業利益+減価償却費）		1,500	1,943	130%	1,650	1,807	+157	3,150	3,750	+600

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

下期修正業績予想

三和油化工業株式会社

- 新工場・新設備の稼働に備え、**リユース・リサイクル原料となる廃棄物の収集を一層強化**
- 設備投資・研究開発・増員等は計画通り実施し、**収益・利益拡大にむけた活動方針に変更はなし**

（単位：百万円）

		修正後 通期業績予想	2027年3月期 上期実績	進捗率
売上高	リユース	10,800	5,464	50.6%
	リサイクル	6,200	3,127	50.4%
	ﾌｧｲﾝｹﾐｶﾙ	4,200	2,284	54.4%
	ﾍﾞｰｼｯｸｹﾐｶﾙ	3,000	1,559	52.0%
	ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	1,600	987	61.7%
売上高 計		25,800	13,423	52.0%
営業利益		2,300	1,272	55.3%
経常利益		2,200	1,238	56.3%
親会社株主に帰属する当期純利益		1,500	815	54.4%

事業種類別概況

リユース事業
- 再生溶剤・リン酸の原料収集に注力し、取扱数量を継続的に拡大
- A&H Japan社とのシナジーにより、新しい金属案件に取組

リサイクル事業
- 新工場・新設備の稼働に備え、産業廃棄物の収集を強化
- 化石燃料の代替品を供給し、廃棄物有効利用による資源循環を推進

ファインケミカル事業
- 半導体業界の旺盛な需要に応え、高純度化学品を製造・販売
- 車載向け電池バインダーの受託製造を拡大

ベーシックケミカル事業
- 原油・ナフサ関連製品について、チャネルを多様化し調達力を強化
- 新しい機能材開発、顧客との関係性強化による他事業とのシナジー

エンジニアリング事業
- 解体案件を継続的に受注できるよう、事業再編し体制を強化
- 2027年のPCB処理期限により、駆込み需要等に対応

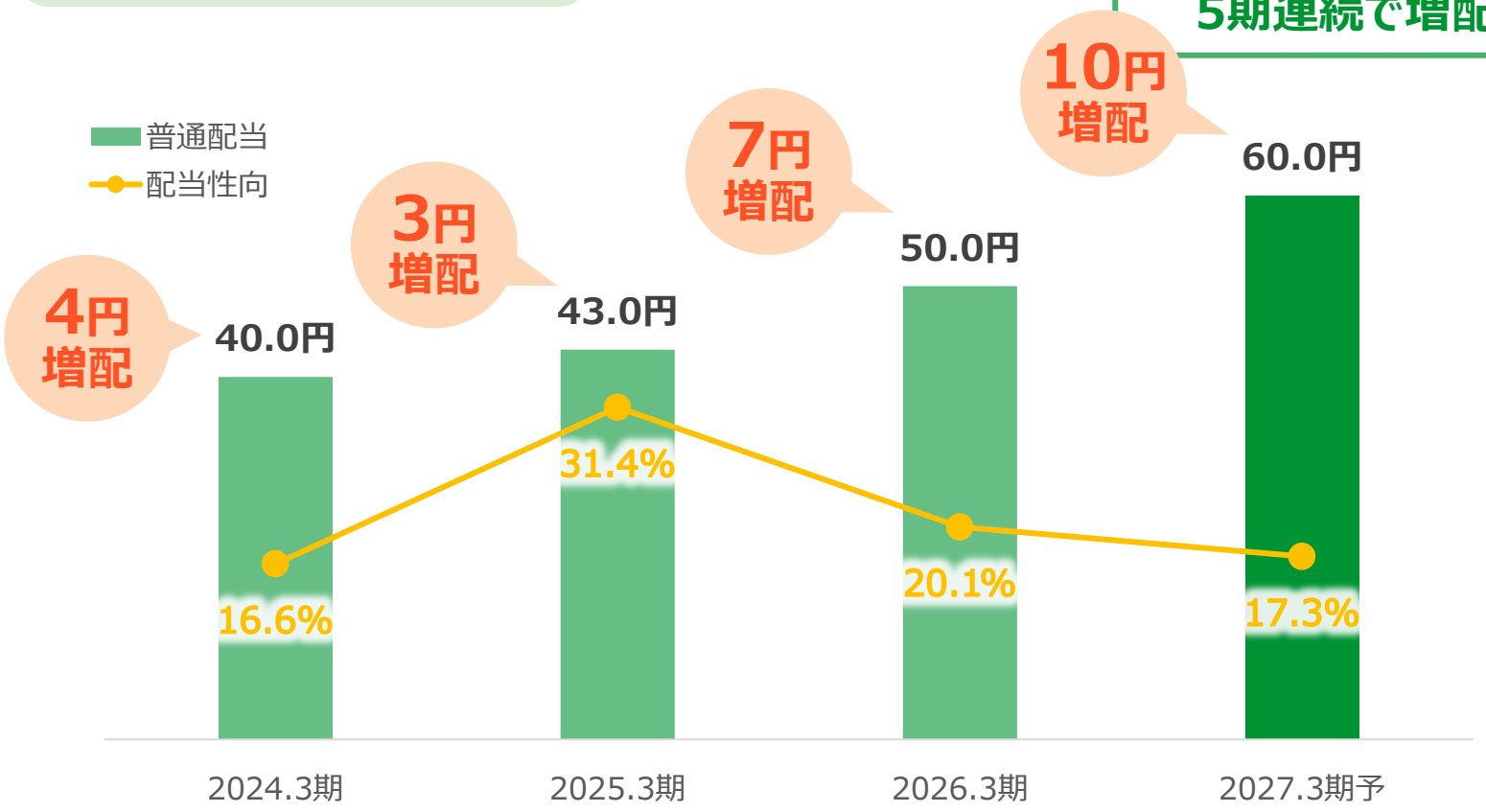
Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

株主還元

配当方針	今後の事業展開及び財務体質の充実等を勘案のうえ、 非減配を基本方針とし、安定的な配当を継続して実施していきます

1株あたり配当金・配当性向

上場（2022年３月期）来、
5期連続で増配実施



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.



中長期経営計画



グランドビジョン2030

■ 事業環境と当社グループの強みを踏まえて、経済的価値と社会的価値の向上を図る

事業環境

大企業を中心としたサステナブルニーズの拡大

- 国内での資源循環、サーキュラーエコノミー
- 化石エネルギーからの転換、脱炭素
- 資源調達リスク等の課題解決

半導体・電池・電子部品のマーケット拡大

- 新たな工場建設への投資が加速
- 次世代自動車シフトによるサプライチェーン変化
- 微細化に伴う品質要求厳格化と再生材ニーズ

自社グループの強み

①	全国から様々な廃棄物を集める仕組みと特徴ある産廃許可を保有
②	輸入依存資源をマテリアルリサイクルできる高度な分離・精製技術を保有
③	リサイクル企業であり、メーカーである
④	廃棄物から電子材料まで幅広い事業領域
⑤	全国の優良企業との直需取引

⇒ 拡大するニーズ・マーケットに対し、世の中の役に立つ仕事を通じ「社会から必要とされる環境リーディングカンパニー」を目指す

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

グランドビジョン2030

三和油化工業株式会社

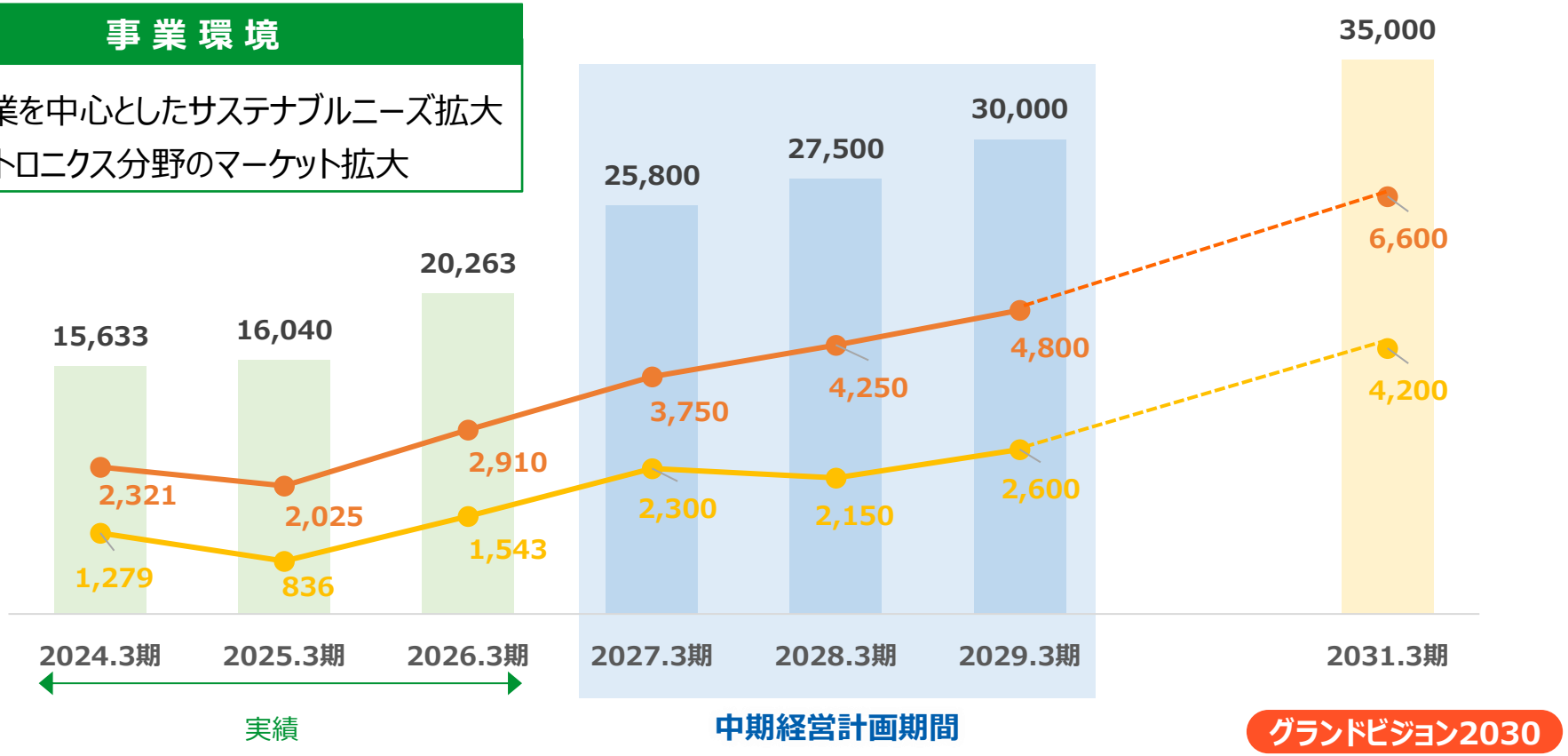
■ 好況な事業環境により、**前倒しで計画達成できる見込みであるため、中期経営計画を上方修正**

- **売上高　350億円　（2026年3月期比：1.7倍）**
- **営業利益　42億円　（2026年3月期比：2.7倍）**
- **EBITDA　66億円　（2026年3月期比：2.3倍）**

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費

事 業 環 境

- 大企業を中心としたサステナブルニーズ拡大
- エレクトロニクス分野のマーケット拡大



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画（2027年３月期～2029年3月期）

三和油化工業株式会社

業績目標

	2029年3月期
売上高	30,000百万円
営業利益	2,600百万円
営業利益率	8.7%以上
EBITDA	4,800百万円
EBITDA マージン	16.0%以上

EBITDA：営業利益＋減価償却費、EBITDAマージン：EBITDA / 売上高

中期経営計画の位置づけ

安定的な事業成長及び領域拡大による業績伸長

- エレクトロニクス関連産業との取引拡大による成長
- 東西拠点を中心とした新規顧客開拓
- 金属回収や解体工事等の既存事業領域拡張

グランドビジョン2030計画達成に向けた主要な投資の実施

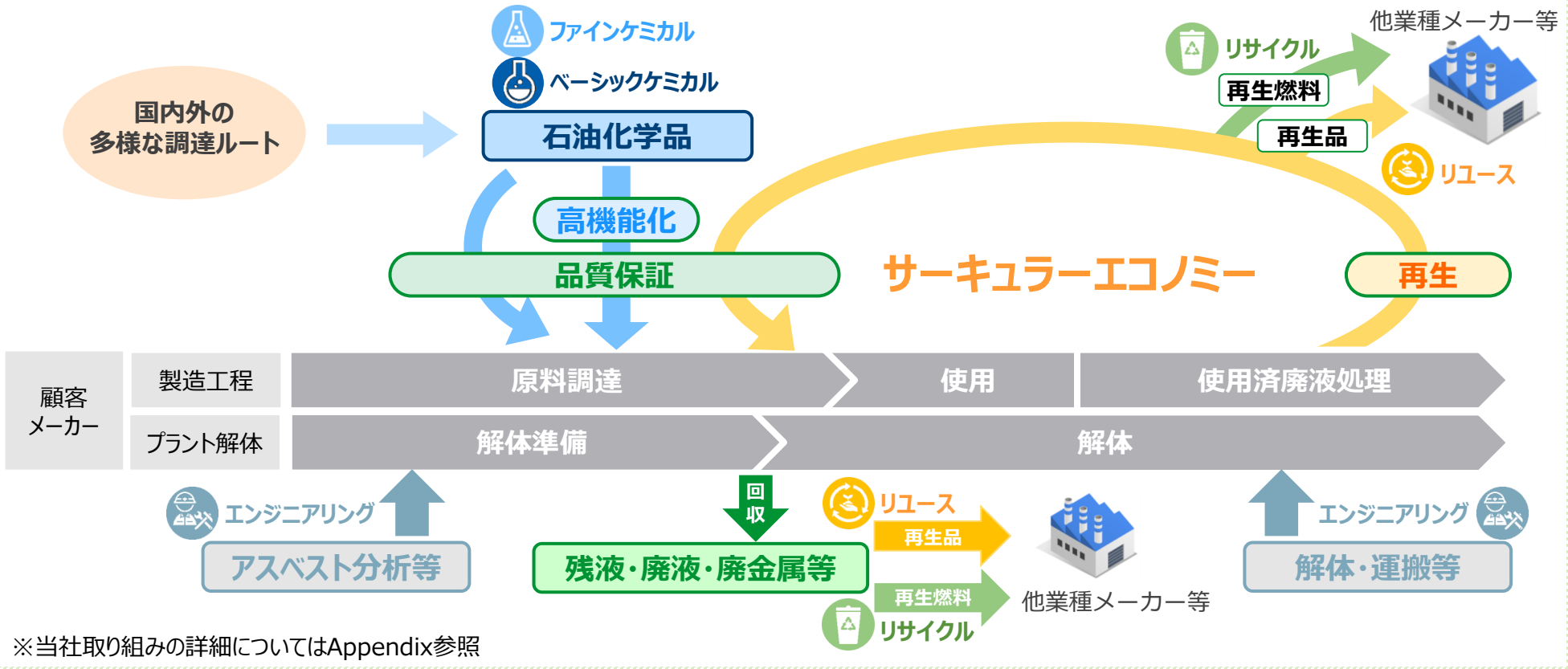
- 約80億円超を投資し北九州市に新工場建設
  （資源循環投資促進補助金として最大20億円）
- 再資源化設備増設による能力増や分離技術開発

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

■ 成長産業との親和性の高さを活かし、再資源化ニーズに応え安定的な業績伸長を計画

当社グループの企業戦略（Strategy）

- **輸入依存資源の新液供給およびマテリアルリサイクルの仕組**提供
- 多様な企業と強固な関係を築き、**資源循環を推進するハブとしての機能強化**
- 営業力、技術力および物流網等を融合させ**再資源化の対応領域を拡大**



※当社取り組みの詳細についてはAppendix参照

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

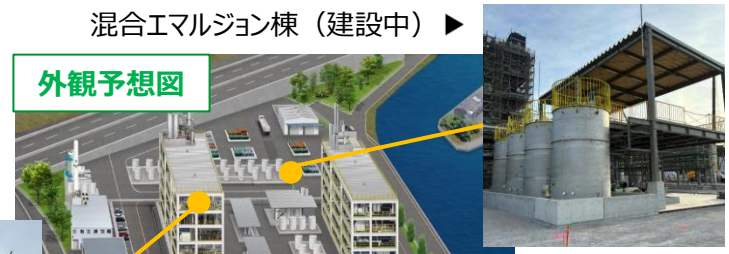
成長産業の再資源化ニーズを取込

サンワマテリアルソリューションズ新工場（福岡県）

■ 高まる再資源化ニーズを背景に、九州地区に集積している**半導体関連企業より排出される使用済化学品のマテリアルリサイクル・サーマルリサイクル**を実現

所在地	北九州市戸畑区（AGC株式会社 北九州事業所内）
稼働開始	2027年4月（予定）
建設費用	第1期工事として約80億円超の設備投資 （補助金が最大約20億円）
売上計画	2027年度　約12億円 2030年度　約30億円

混合エマルジョン棟（建設中）▶



外観予想図



◀ 蒸留棟（建設中）

再資源化設備増設

混合エマルジョン化設備増設（愛知県）

■ サステナビリティ意識の高まりによる、**廃棄物由来燃料への旺盛な需要をうけ再生燃料製造設備を本社工場に増設**

所在地	愛知県刈谷市　家下工場
稼働開始	2027年度下期（予定）
投資額	約11億円
売上計画	2029年度　約6億円

既存混合エマルジョン化設備▶





◀第２混合エマルジョン設備（建設中）

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

中期経営計画（グランドビジョン2030計画達成に向けた主要な投資の実施）

レアメタルの再資源化設備増設

タングステン回収設備新設（愛知県）

■ **廃棄物から重要な戦略資源であるタングステンを回収し、半導体業界での水平リサイクルを企図**

稼働開始	2027年度下期（予定）
投資額	約4億円
売上計画	2028年度　約3億円



▲ 既存多目的金属回収設備

インジウム回収設備増設（和歌山県）

■ **次世代半導体材料としてニーズの強いインジウムの回収設備を増設し、国内資源循環を推進**

稼働開始	2027年度下期（予定）
投資額	約１億円
売上計画	2028年度　約2.5億円



▲ 既存レアメタル回収設備

出資、増資等

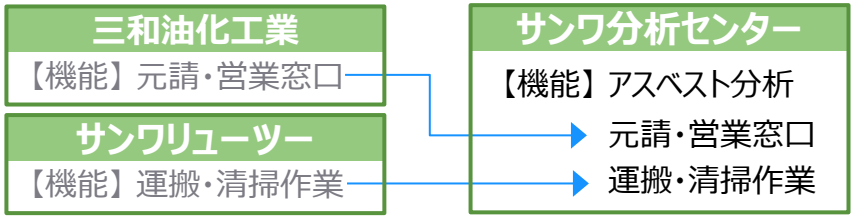
日台合弁企業

■ 日台合弁企業に資本参加し、当社の技術を使用して、**海外でのマテリアルリサイクルに挑戦**

稼働開始	2028年度以降
投資額	14百万台湾ドル（約70百万円）
出資比率	20.0%（持分法適用会社）

事業再編および子会社の増資

■ 事業再編し、グループ各社の**エンジニアリング機能を子会社サンワ分析センターに集約し、連携強化することにより案件等への対応力を向上**



■ サンワ分析センターは、事業基盤を強固なものにし、特定建設業者の資本金要件を充足するため増資予定

■ 事業再編による連結会社損益への影響はありません

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.



Appendix

① 半導体業界における当社取組

三和油化工業株式会社

■ 中長期的な成長が見込まれる半導体関連メーカーに対して、**ファインケミカル品の製造販売から使用済化学品・レアメタルの再資源化まで提案**しサステナブルな事業成長を実現

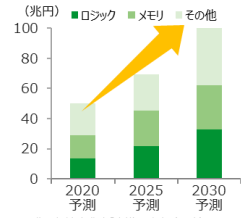
当社グループの強み（Strength）

- 国内唯一の**化学品リサイクルメーカー**
- 廃棄物の**最適な再生(処分)方法を提案**
- **厳格な品質管理体制**

×

事業機会（Opportunity）

世界の半導体市場

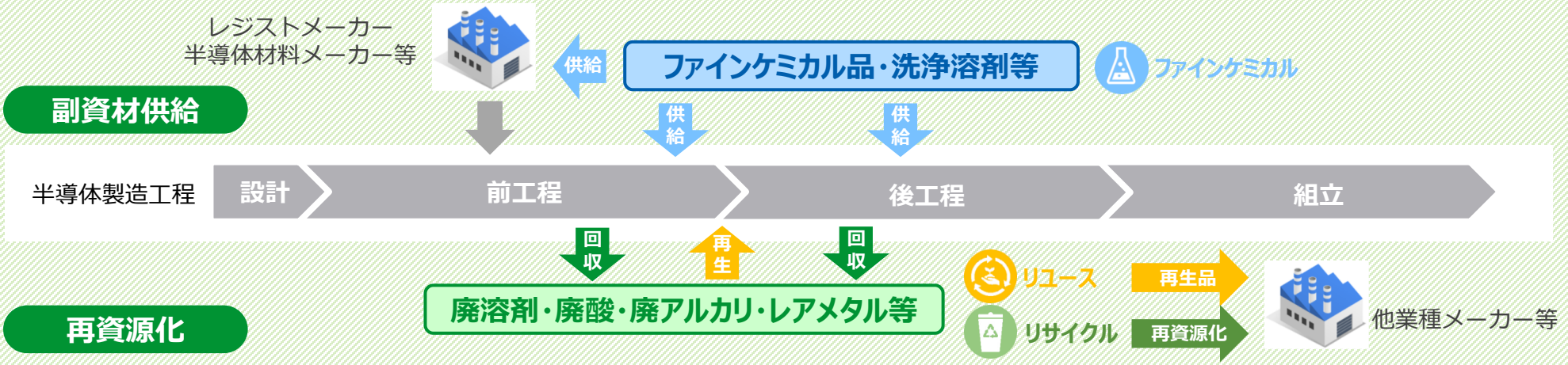


出典：経済産業省「半導体戦略（概略）」
※縦軸は出荷額を表す

- 市場規模は**今後も拡大傾向**
- **AI・データセンター向けを中心に需要は旺盛**

半導体業界における当社取組（リユース・リサイクル・ファインケミカル）

- 前・後工程で使用される**薬液の供給と使用済化学品・レアメタルの再資源化**



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

② 電池業界における当社取組

三和油化工業株式会社

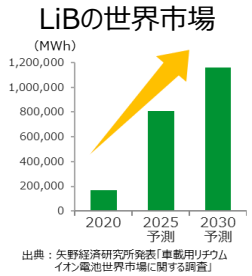
■ 市場規模の拡大が見込まれるリチウムイオン二次電池関連メーカーに対して、**幅広いモノの取扱いと製造販売から再資源化まで提案**することにより**サステナブルなサービスを提供**

当社グループの強み（Strength）

- **高レベルで分離・精製**する技術
- **低水分下で均一に混合**する技術
- **国内外の安定的な調達ルート**
- 自動車メーカーとの**強固な関係性**

×

事業機会（Opportunity）

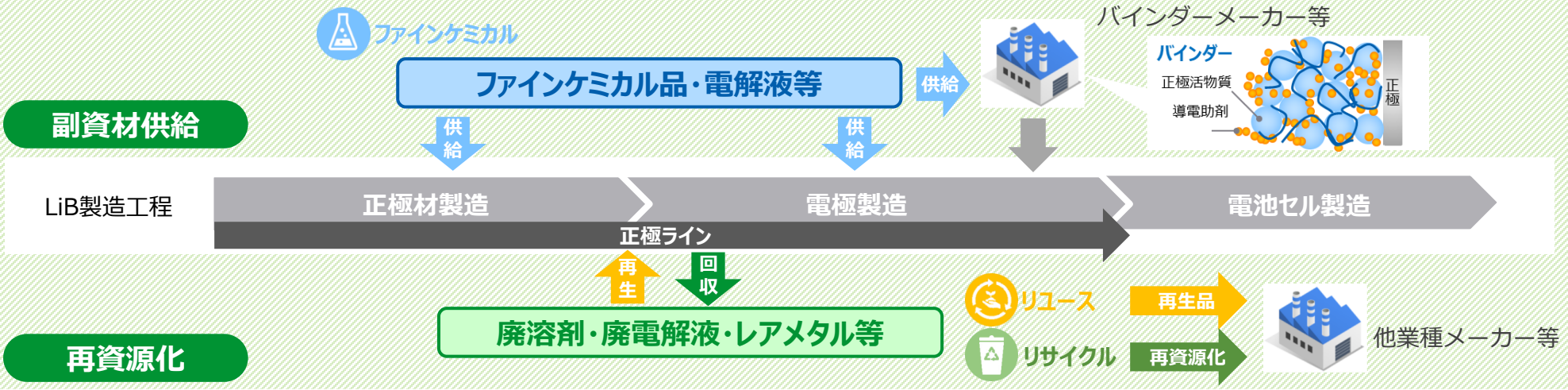


出典：矢野経済研究所発表「車載用リチウムイオン電池世界市場に関する調査」

- 中長期的には**大きな成長が見込める市場**
- **ESS等の蓄電池は特定重要物資**に国が認定

電池業界における当社取組（リユース・リサイクル・ファインケミカル）

●ファインケミカル品や機能性材料の供給と使用済化学品・レアメタル等の再資源化



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

③ 電子部品業界における当社取組

三和油化工業株式会社

■ 成長が見込まれる電子部品メーカーに対して、ファインケミカル品・再生品の製造販売やアライアンス先との協業等による受託再生により**資源循環ニーズに応える**

当社グループの強み（Strength）

- 高い**品質管理体制**
- 多様なメーカーとの**直需取引**
- **地産地消**を推進するアライアンス体制

×

事業機会（Opportunity）

- AI時代の到来により**MLCC、アルミ電解コンデンサは需要増加予想**
- 日本の**MLCCメーカーは競争力あり**

※　MLCC：積層セラミックコンデンサ

電子部品業界における当社取組（リユース・リサイクル・ファインケミカル）

●ファインケミカル品・再生品の供給と使用済化学品の再資源化



※　アライアンスによる再生品も当社が品質保証

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

④ ファインケミカル品の調達及び供給における当社取組

三和油化工業株式会社

- メーカー各社のBCP対策による調達先多様化やエチレンプラント統廃合により一部のファインケミカル品が希少化することに対し、**調達・供給能力の強化及び使用済化学品の再生を提案**

当社グループの強み（Strength）

- 海外からの**ファインケミカル品の調達ルート**
- **使用済化学品の再生**
- **湾岸地域の大型タンク**



▲ 危険物タンク

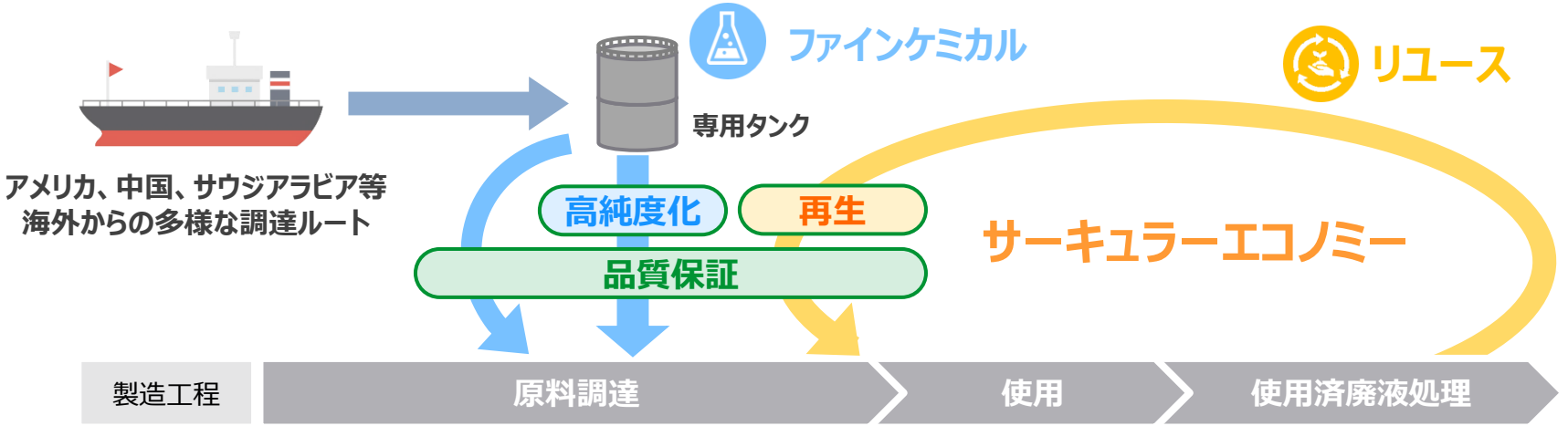
×

事業機会（Opportunity）

- メーカー各社による**調達チャネルの多様化**
- エチレンプラントの統廃合により、**消費量の少ないファインケミカル品が希少化**
- 主要ユーザーと保管場所の**立地環境**

ファインケミカル品の調達及び供給における当社取組（リユース・ファインケミカル）

- **国内で希少化したファインケミカル品の供給及び廃液の再生による資源調達リスクの低減**



Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

⑤ エンジニアリング事業における当社取組

三和油化工業株式会社

- 国内エチレンプラントは、老朽化と低稼働率により**構造的縮小となり、化学プラント解体案件は増加**
- 解体工事により発生する**残液や金属を回収し、リユース・リサイクル事業により再資源化**

当社グループの強み（Strength）

- 産廃処理・収運、**特定建設業の許可**保有
- **石油化学関連企業との強固な関係性**
- **多数の資格保有者**が在職

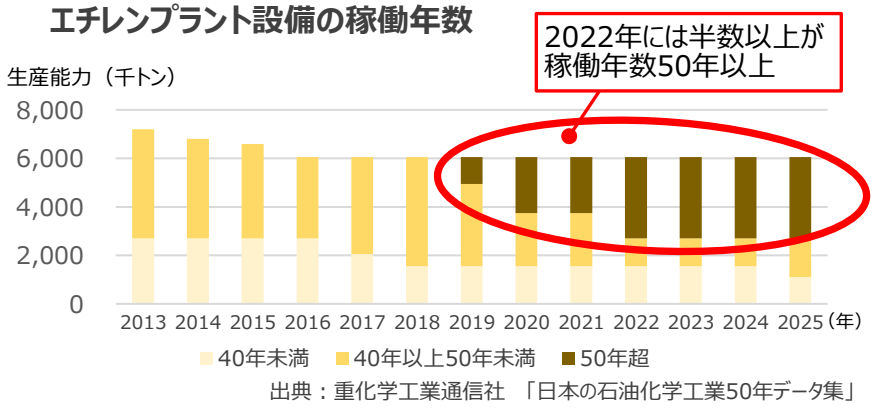
資格名	保持者数（人）	資格名	保持者数（人）
1級施工管理技士	2	特定化学物質及びアルキル鉛等作業主任者	12
石綿作業主任者	9	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	32
職長教育（オールトヨタ）	20	PCB廃棄物収集運搬作業従事者	19

×

事業機会（Opportunity）

- 業界再編により**エチレンプラントが統廃合**

エチレンプラント設備の稼働年数



出典：重化学工業通信社 「日本の石油化学工業50年データ集」

エンジニアリング事業における当社取組（リユース・リサイクル・エンジニアリング）

- **分析・残液抜取り・処理から設備撤去まで、グループ企業でワンストップサービスを提供**

解体工事	分析	残液の除去・運搬	残液・金属等の再資源化及び処理	解体
三和油化工業 元請として工程ごとに仕事を采配	**サンワ分析センター** 建築物のアスベスト分析等を実施	**サンワリューツー** 多様な車輌保有及び清掃作業体制	**サンワ南海・境リサイクル A&H Japan** 多様な技術で再資源化	**協力業者** 専門業者との強固な関係

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

事業分類の変更について

三和油化工業株式会社

- ファインケミカル品を事業として独立させ、**エレクトロニクス業界向け製品等の販売を強化**
- 汎用化学品を自動車事業に含め、ベーシックケミカル事業に名称変更し、**機能材等の販売拡大**

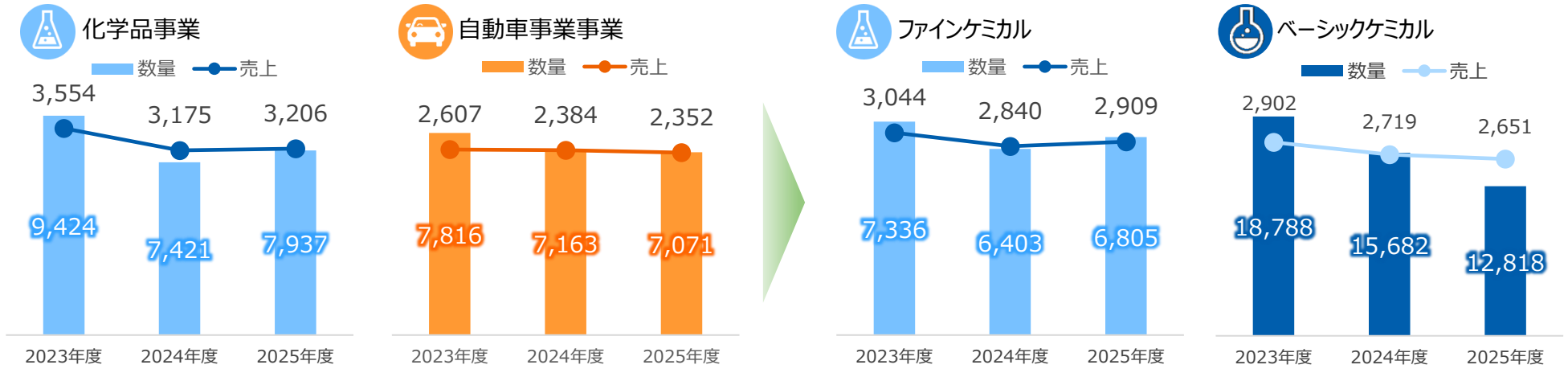
旧事業分類（～2025年度）

事業分類	主要品目
化学品	製品（ファインケミカル）
	商品（ファインケミカル）
	製品（汎用化学品）
	商品（汎用化学品）
自動車	製品（油剤・洗浄剤等）
	商品（油剤・洗浄剤等）

新事業分類（2026年度～）

事業分類	主要品目
ファインケミカル	製品
	商品
ベーシックケミカル	製品（溶剤）
	商品（溶剤）
	製品（油剤・洗浄剤等）
	商品（油剤・洗浄剤等）

直近3事業年度の売上高および販売数量



※数量は主要品目としていたため化学品事業の数量に商品（汎用化学品）は含めておりませんでしたが、ベーシックケミカル事業の数量には商品（溶剤）も含めております。

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.

本資料における注意事項

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

三和油化工業株式会社

TEL　0566-35-3021（経営管理部）

URL　https://www.sanwayuka.co.jp/

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

Copyright © SANWAYUKA INDUSTRY CORPORATION All rights reserved.